

ぜひご協力ください！

乗合タクシー存続署名運動始まる

市は、「バス路線空白地域対策」として実施していた、「乗合タクシー試行運行事業」奈良・秋塚、宇楚井・原・川田線を本年9月いっぱいまで廃止するとの方針を提案し、4月下旬に地元説明会も行ないました。市は、廃止の理由に利用者が少なく、特に高校生がいなくなっていて昨年度から激減していることを上げています。しかし当該地域は高齢化率が年々上昇し、車の運転ができないお年寄りが増えている地域で、乗合タクシーの廃止は病院や買い物に行く「足」がなくなることになり、生活や命にかかわる問題にもなります。利用しているお年寄りからは、「廃止をしないでください」という数多くの切実な声があがっています。

この度、これらの切実な声を受けて、「乗合タクシーを存続させる会」(代表 薄根地区 野村利二氏 川田地区 原二次男氏)が結成され、沼田市長と市議会に対し「乗合タクシーの存続を求める陳情」署名運動が始まりました。市民のみなさん、ぜひご協力ください。



平成20年度乗合タクシー試行運行の状況

区分	宇楚井・上川田線	前年度比	奈良・秋塚線	前年度比
年間乗車人員	6,688人	△1,199人	3,567人	△449人
年間運行日数	298日	0	298日	0
1便乗車人数	1.60人	△0.29人	1.00人	△0.12人
収支率	17.0%	△4.3%	12.1%	△0.8%

沼田市平成20年度ごみ処分量の状況

区分	処分量 (t)				対前年度比 (%)	
	本庁・白沢町		利根町		本庁・白沢町	利根町
	H20	H19	H20	H19		
再資源化	2,775	3,016	176	171	△8.0	+2.9
焼却	15,264	15,358	1,971	1,884	△0.6	+4.6
埋立	1,043	1,129	255	243	△7.6	+4.9

県内他市では無料・低料金循環バスを運行

もともとその地域はバス路線がなく、住民が困っていた地域でした。小型のバンタイプで「乗合タクシー」として関越交通に委託して、試行運行をしていましたが、乗客が少なく赤字が大きいという理由で、廃止を打ち出しました。しかし、乗合タクシーといっても他のバス路線と同じ料金設定で、沼田市街地や沼田駅などへ往復すれば1,000円近い料金になるなど、弱者に優しいとは言えませんでした。

伊勢崎市は無料の循環福祉バスを、前橋や高崎は低料金（どこまで乗っても路線内なら100円、200円）の循環バスを実施して住民の利用が増えており、本市においても日本共産党をはじめ、他の議員からも乗客を増やすためにいろいろな方法を検討するよう提案が出されていました。

本市における路線バスはほとんど「赤字」路線で、佐山線や岩本線など5路線については沼田市が赤字補填をしています。市内のバス路線は全体的に抜本的な対策が必要になっていますが、今回は真剣にそれらの検討もせず、財政的なことだけを優先して、交通弱者を切り捨てるものではないでしょうか。

いよいよ総選挙 「朝立ち」が再開されました

国会での14兆円補正予算が衆議院で「強行採決」され、参議院に審議の場が移りました。大企業・ゼネコン優先の「バラマキ」予算のツケは、消費税の増税で国民に、というのが麻生自民・公明政権のシナリオです。絶対に許すわけにはいきません。8月総選挙が有力です。日本共産党は、必ず前進するために取り組みを強化しています。

北部支部の朝立ち



2009年5月24日 No.476

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料